

学びの領域 対人・社会心理学の「3つの力」を身につける。

自分と他者を理解する力

自己が社会的に成立していることを理解し、自己を健康に保つための力を身につけます。パーソナリティ心理学や発達社会心理学で自己理解を深め、ジェンダー心理学やスポーツ心理学、ビジネス心理学などで、人の性質や状況ごとの心理について学びます。

- # ポジティブ心理
- # 性格
- # 社会的認知
- # 自己

人付き合いを円滑にする力

人間関係やコミュニケーションの仕組みを理解し、良好に維持するための力を修得します。外見や恋愛、対人感情など、日常的な人間関係から生まれる事象から、社会や異文化など幅広く人間関係・コミュニケーションにおける心理について学んでいきます。

- # コミュニケーション
- # 対人関係
- # 恋愛
- # 対人感情

社会を動かす力

状況や環境が個人に与える仕組みを理解し、それらの力を効果的に活用するための方法・スキルを学びます。家族や会社といった集団の心理、また消費者や産業・企業、マーケティングといった経済活動、メディアや社会問題に関する心理について深めていきます。

- # 集団
- # 文化
- # ステレオタイプ
- # 消費者心理
- # マーケティング

学びの流れ 社会で役立つスキルとリサーチ力を磨く。

卒業基準単位数: 124
教養的科目: ≥24
専門科目: ≥96

※2026年4月1日入学者の場合。

	1 心理学の基礎・応用を広く学ぶ 年次	2 研究手法のテクニックを学ぶ 年次	3 ゼミナール活動で専門分野を探究 年次	4 卒業論文、卒業研究を作成 年次
対人・社会心理学の基礎や、心理学の基礎・応用領域を学修。パソコンでの統計や情報処理等のスキルも修得します。	専門領域へ踏み、「心理学実験」社会心理データ分析法」等の科目から研究技法を学びます。	実験形式の科目が増え、ゼミナール活動をおして専門分野を固め、調査や実験から実証することを学びます。	4年間で培った知識と技術を生かし、テーマを決めてデータを収集、教員指導のもと、論文・研究をまとめます。	
必修科目	<ul style="list-style-type: none"> 心理学概論 心理学研究法 対人・社会心理学概論 対人・社会心理学基礎演習 心理学統計法Ⅰ・Ⅱ 対人・社会心理学研究法 	<ul style="list-style-type: none"> 心理学と職務スキル 心理学実験Ⅰ 心理学実験Ⅱ 心理学史 社会心理データ分析法 	<ul style="list-style-type: none"> 対人・社会心理学演習Ⅰ 対人・社会心理学演習Ⅱ 	<ul style="list-style-type: none"> 卒業論文・卒業研究Ⅰ 卒業論文・卒業研究Ⅱ
選択科目	<ul style="list-style-type: none"> プレゼンスキルトトレーニング 	<ul style="list-style-type: none"> リーダーシップトレーニング 対人スキルトレーニング 心理学英語論文講読 フィールド研究の技法 心理尺度構成法 心理プログラミング実習 心理的アセスメント 	<ul style="list-style-type: none"> 社会心理調査実習Ⅰ 社会心理調査実習Ⅱ 心理演習 対人コミュニケーション実習 ビジネス心理トレーニング 社会問題アクションリサーチ 異文化コミュニケーション実習 ストレスマネジメント実習 ビジネス開発アクションリサーチ Academic English Presentations Ⅰ Academic English Presentations Ⅱ 	<ul style="list-style-type: none"> 心理実習
		<ul style="list-style-type: none"> 認知感性科学 パーソナリティ心理学 対人感情の心理学 コミュニケーション心理学 恋愛心理学 心理学的支持法 人の発達と機能及び疾病 外見心理学 発達社会心理学 キャリア心理学 ポジティブ心理学 ステレオタイプの心理学 ジェンダー心理学 社会言語学 精神疾患とその治療 簡易学・発達心理学 司法・犯罪心理学 高年齢心理学 リスクマネジメントの心理学 マーケティング心理学 福祉心理学 産業・組織心理学 社会的貢献の心理学 メディア心理学 スポーツ心理学 進化と文化の心理学 対人・社会心理学特別講義 	<ul style="list-style-type: none"> 公認心理師の職業 関係行私法 	

※学歴相補制度がある学部もあります。詳細は各学部へお問い合わせください。 ※カリキュラムは変更される場合があります。

就業

Focus on

消費者心理学

マーケティング事例や実証研究を通じて消費における人間の行動法則を学び、消費に関する課題を考察し、発見する力を養います。

コミュニケーション心理学

円滑なコミュニケーションに必要な心理学の知識とスキルについて学び、社会でも役立つコミュニケーションについて深めていきます。

社会心理調査実習

調査のテーマ設定から実査、報告書作成までを学び、リサーチする技術と相互調整スキルを同時に養います。

■時間割モデル(3年次)

	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
1					感情・人格心理学	
2	ステレオタイプの心理学	進化と文化の心理学	キャリア心理学	発達社会心理学		
3	リスクマネジメントの心理学	対人社会心理学演習Ⅰ		コミュニケーション心理学	社会心理調査実習Ⅱ	
4		ポジティブ心理学				
5						
6						

■卒業論文テーマ

- LGBTに対するステレオタイプを引き起こす要因の検討
- 謝罪会見の仕方が視聴者の帰属過程に与える影響
- YouTube動画の人気とノンバーバルコミュニケーションの関係
- 一緒に視聴する他者の存在が映像作品の評価に及ぼす影響
- 加害者家族非難に関する心理的要因の検討
- 過剰おもてなしが顧客満足度に及ぼす影響
- マインドコントロール被害者に対する責任帰属の研究
- スマートフォンゲームに課金したくない理由
- 証明写真の表情が印象に及ぼす影響
- 友人との類似度と共有行動が親密度に及ぼす影響

ほか

進路・就職 対人関係を円滑にし ビジネスや問題解決に活用。

研究に裏付けられた確かな対人スキルは社会のさまざまな分野で求められています。

学科で身につく力

- 1 社会や市場動向等のリサーチ力と未来を予測し課題解決する力
- 2 人を理解し人間関係を円滑にするコミュニケーション力
- 3 ITやWEBマーケティングの分野で役立つ課題抽出力、統計分析力

■資格・免許

詳しくはP.130へ

【心理関係】

- 公認心理師*
- 認定心理士 (認定資格)

【社会関係】

- 社会調査士 (認定資格)

【その他】

- 図書館司書
- 博物館学芸員 (任用資格)
- 社会教育主事 (任用資格)
- 社会福祉主事 (任用資格)
- 児童指導員 (任用資格)
- 児童福祉司 (任用資格)

*卒業後、一定期間の実務経験が大学院進学を経て受験資格を取得。

各資格について

●公認心理師 ●認定心理士
公認心理師は厚生労働省・文部科学省が定める科目を修得して卒業した後、大学院に進学するか一定の実務経験をすることで受験資格が与えられます。認定心理士は心理学部開設科目を幅広く履修し、単位を修得して卒業した上で、日本心理学会に「認定心理士」資格申請を行い、審査を受ける必要があります。
【関連科目】心理学研究法/対人・社会心理学研究法/心理学統計法Ⅰ・Ⅱ/社会心理データ分析法/社会心理学的研究の方法/社会心理調査実習Ⅰ・Ⅱ

社会調査士(認定資格)

基本的な社会調査の全過程(立案・計画・実施・分析)を修得。卒業と同時に資格を取得可能で、社会調査関連の職種に就くことができます。

認定心理士(認定資格)

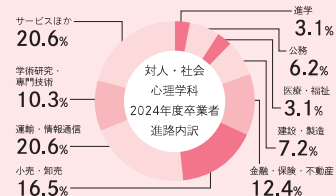
心理学全般にわたる基礎的な知識を身につけるといって取得できる基本的な資格です。

■進路・将来像

- マーケティング
- データアナリスト
- メディアプランナー
- システムエンジニア
- 家庭裁判所調査官
- 矯正心理専門職
- 保護観察官
- 地方公務員(心理職、心理判定員等)
- 法務教官
- 警察関係の公務員
- 警視庁心理職、県警少年警察補導員等)
- キャリアコンサルタント
- マーチャンダイザー
- 接客・営業職
- 社会教育主事
- 社会福祉主事
- 図書館司書
- 博物館学芸員
- 民間企業全般
- 大学院進学 等

■主な進路

警視庁、世田谷区役所、川崎市役所、日本年金機構、横浜信用金庫、かながわ信用金庫、医療法人社団翔和仁誠会、ティファニー・アンド・カンパニー・ジャパン・インク、アノグセル株式会社、株式会社良品計画、ボラス株式会社、株式会社ドウシシャ、株式会社マイナビ、株式会社マクロミル、株式会社アイデム ほか



Topics

アカデミックスキルと対人スキルを鍛える

実験から分析、レポート作成を行う「心理学実験」や、リサーチや相互調整のスキルが身につく「社会心理調査実習」、「プレゼンスキルトトレーニング」対人スキルトレーニング」等の授業によって、幅広い職種で役立つスキルを磨きます。

